

第48回 日本医学放射線学会秋季臨床大会

# 第26回 胸部放射線研究会

The 26th Annual Meeting of the Japanese Society of  
Thoracic Radiology



2012・NAGASAKI

大会長：上谷 雅孝（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
放射線診断治療学）

当番世話人：芦澤 和人（長崎大学病院 がん診療センター）

日時：平成24年9月28日（金）

会場：NCC & スタジオ

# ご 挨拶

第26回 胸部放射線研究会当番世話人  
長崎大学病院 がん診療センター

芦澤 和人

第26回胸部放射線研究会の当番世話人を務めさせていただきます長崎大の芦澤です。  
一言、ご挨拶を申し上げます。

本研究会は、私が大学を卒業した昭和62年に第1回が開催されており、4半世紀を越える歴史のある会です。当初より病理医にコメンテーターとしてご参加頂き、画像・病理の比較を主体に行われてきました。稀な症例や common disease ですが画像が非典型的な症例を、病理像と一緒に学ぶことができ、私自身、毎年楽しみにしています。今回も、“病理診断が得られており、画像または病理所見上、興味ある症例”を、多数応募していただきました。長崎大学病院病理部の林 徳真吉先生と富山大学病院病理部の福岡 順也先生を病理コメンテーターにお招きしており、するどいコメントを頂けるものと思っております。

第23回からは、病理診断の有無にかかわらず、より実践的な症例を拾い上げるため要望演題が設けられました。今年の要望演題は、“感染症(原病の画像診断に加えて、治療方針や合併症が興味深いもの)”で、病理診断が得にくく治療方針がしばしば問題となる領域に焦点を当てたいと思います。コメンテーターは長崎大学呼吸器内科の掛屋 弘先生にお願いしました。臨床医の生の声を聞き、皆さんと一緒に学びたいと思っています。

一昨年(第24回)には、会場の聴衆参加型の Quiz 演題が初めて企画されました。まず演者に診断名をふせて画像を呈示していただき、会場で短い討論を行った後、解説していただくものです。以前のアンケートで要望が多かった film interpretation の簡易版に当たります。Quiz 演題は各セッションの最後に予定しています。座長の先生には、会場の先生方に意見を求めて指名して頂くことにしていますので、緊張感の中、楽しんで頂ければ幸いです。

今回の胸部放射線研究会は、12年ぶりに長崎市で開催されます。西洋医学の発祥の地である長崎で多くのことを学び、さらに観光、おいしい料理などを堪能していただければ幸いです。是非多数の方々にご参加いただきますようお願い申し上げます。

# ご 案 内

## 座長・司会者へのご案内

- 1) 参加受付終了後、セッション開始15分前までに、各会場内右前方の「次座長・司会者席」へお着きください。
- 2) セッションの終了時間を厳守してください。
- 3) 本大会では座長・司会者紹介のアナウンスは入りませんのでご了承ください。

## 口演発表者へのご案内

### 【利益相反報告について】

- 発表時にはすべての発表者に利益相反の開示が義務づけられます。
- 大会ホームページあるいは日本医学放射線学会ホームページより、発表用のパワーポイントスライドをダウンロードしてそれを用いてください。
- 日本医学放射線学会ホームページに「規定」と「細則」が示されていますので、それを参照してください。

### 【口演時間について】

口演時間は、一般演題：発表5分、討論3分(計8分)、要望演題：発表5分、討論5分(計10分)、クイズ：発表、解答、解説で計12分です。時間厳守をお願い致します。

### 【発表データの受付と確認】

- 発表の30分前までに下記のPCデータ受付にて発表データのチェックを行ってください。  
NCC & スタジオ 1F ロビー  
PCデータ受付時間 9月28日(金) 8:00～17:00
- PC本体お持ち込みの方はデータ確認終了後、セッション開始15分前までに、発表会場のPCオペレーター席(会場ステージ向かって左側)までご自身でお持ちください。
- 会場に設置される機材のスペックは、プロジェクター1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- 当日は演者ご自身で演舞台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。
- セッションの始まる15分前には会場でお待ちください。

### 【ご発表機材について】

#### 〈データをお持ち込みの方〉

- PC(パソコン)での発表のみ可能です。プロジェクターは1台のみの使用となります。  
会場ではWindowsのパワーポイントを用意致します。データについてはWindowsのみとし、CD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください(CD-RW、DVD-RWは不可)。
- CD-R、DVD-Rへの書き込みの際は、ファイナライズ(セッションのクローズ・使用したセッションを閉じる)作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合は、データを作成した

PC 以外ではデータを開くことができなくなることがあります。予め、CD-R、DVD-R を作成した PC 以外でも開くことができることをご確認ください。

- ご発表用アプリケーションについては以下のバージョンを用意致します。  
Windows Power Point : 2000, 2003, 2007, 2010  
※ Macintosh で発表データを作成される方は、ご自身の PC をお持ち込みください。
- フォントは OS 標準で装備されているものをご使用下さい。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧め致します。  
推奨フォント／日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
推奨フォント／英語の場合 Century, Century Gothic, Arial, Time New Roman  
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- 動画をご使用の場合は、PowerPoint とのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。Windows の場合は、XP (OS) および Windows Media Player9 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。  
(推奨 : MPEG 形式、WMV 形式)  
※ AVI は CODEC によって再生できない場合があります
- 動画ご使用の場合は、ご自身の PC をお持ちいただくことをお勧め致します。
- 音声についてはご使用できません。
- 発表者ツールはご使用できません。
- ファイル名は「演題番号 演者名.ppt (2007/2010 の場合は.pptx)」としてください。
- メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- お預かりした発表データは、学会終了後にコンピューターより消去致します。

#### 〈PC 本体を持参される方〉

- PC 持込の場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- また、バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参下さい。再起動することがありますのでパスワード入力不要に設定をお願い致します。出力端子が MiniD-sub15 ピン (通常のモニター端子) でないものは、接続アダプターをご持参下さい。  
(例 : Mac Air、Mac Book、SONY VAIO など)
- 画面サイズ (解像度) については、XGA (1024×768) となります。
- この環境で画面の全てが不具合無く表示される事を、予めご確認ください。
- 音声についてはご使用できません。
- 発表者ツールはご使用できません。
- スクリーンセーバー、省電力設定については、あらかじめ解除をお願いします。
- パソコンにトラブルがあった場合に備えて、バックアップとして各種メディア (CD-R、DVD-R、USB フラッシュメモリ) をご用意ください。

# 第26回 胸部放射線研究会プログラム

## 開会の挨拶 (8:35~8:40)

---

当番世話人 荻澤 和人(長崎大学病院がん診療センター)

## セッション1 (8:40~9:40)

---

座長：中園 貴彦(佐賀社会保険病院放射線科)

病理コメンテーター：林 徳真吉(長崎大学病院病理部)

- 01 心外膜に発生した石灰化炎症性偽腫瘍の1例  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 放射線科 大隈 智尚
- 02 巨大な嚢胞変性を伴った縦隔機能性副甲状腺腫の1例  
昭和大学横浜市北部病院 放射線科 橋詰 典弘
- 03 中縦隔に二つの異なる組織型を呈する間葉系腫瘍が併存した一例  
信州大学医学部 画像医学講座 藤田 顕
- 04 脂肪腫様高分化型脂肪肉腫との鑑別が問題となった thymolipoma の1例  
名古屋市立大学 放射線科 鈴木 庸介
- 05 胸腺組織に発生した高分化型脂肪肉腫の1例  
大分赤十字病院 放射線科 中山 朋子
- 06 Thymoliposarcoma の1例  
名古屋市立大学 放射線科 上嶋 佑樹
- 07 [クイズ症例1] FDG-PET で高集積を示した前縦隔腫瘍の一例  
信州大学医学部 画像医学講座 松下 美奈

## セッション2 (9:40~10:40)

---

座長：青木 隆敏(産業医科大学放射線科)

病理コメンテーター：福岡 順也(富山大学病院病理部)

- 08 肋骨結節による反応性胸膜肥厚の3例  
兵庫県立加古川医療センター 放射線科 林 奈津子
- 09 肋骨結節腹側の胸膜ブランク様病変と肋骨の突出に関する検討  
NTT 東日本関東病院 放射線部 日下部将史
- 10 胸膜原発の Inflammatory myofibroblastic tumor の一例  
静岡県立静岡がんセンター 画像診断科 遠藤 正浩

- 11 胸膜 MALT lymphoma の一例  
聖路加国際病院 放射線科 佐藤 嘉尚
- 12 胸壁に発生した infiltrative angiolipoma の一例  
順天堂大学放射線医学講座 浜野 彩子
- 13 Pleuropulmonary Synovial Sarcoma の一例  
京都市立病院 放射線科 吉田麻里子
- 14 [クイズ症例2] 右胸水貯留の一例  
長崎市立市民病院 放射線科 井手口怜子

休憩 (10:40~10:50)

---

セッション3 (10:50~11:50)

---

座長：黒木 正臣(藤元中央病院放射線科)  
病理コメンテーター：林 徳真吉(長崎大学病院病理部)

- 15 気管原発の HPV-induced papillary squamous cell carcinoma の一例  
静岡県立静岡がんセンター 画像診断科 遠藤 正浩
- 16 乳癌術後16年で気管支内に粘液腫様肺転移を来した1例  
兵庫県立がんセンター 放射線診断科 竹中 大祐
- 17 肺生検が診断に有用であった肺転移を伴う乳原発腺筋上皮腫の一例  
熊本大学医学部附属病院 画像診断・治療科 吉田 守克
- 18 肺原発リンパ上皮腫様癌の一例  
聖路加国際病院 放射線科 柴田 英介
- 19 薄壁空洞を呈した Pleomorphic carcinoma の一例  
川崎医科大学 放射線科 谷本 大吾
- 20 肺原発と考えられた sarcoma の1例  
山口大学 放射線科 国弘 佳枝
- 21 [クイズ症例3] 左肺門部腫瘤の一例  
呉共済病院 放射線科 牧 大介

セッション4 (13:30~14:15)

---

座長：藪内 英剛(九州大学大学院医学研究院医用放射線科学講座)  
病理コメンテーター：福岡 順也(富山大学病院病理部)

- 22 Anomalous unilateral single pulmonary vein の一例  
慶應義塾大学 放射線診断科 高田 直美
- 23 咯血を契機に右肺低形成および静脈還流異常が明らかとなった青年男性の1例  
東海大学医学部基盤診療学系画像診断学 森 なお子
- 24 乾性咳嗽を契機に発見された pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) の一例  
神戸市立医療センター中央市民病院 画像診断・放射線治療科 尾谷 知亮
- 25 肺静脈閉塞症(PVOD)の一例  
琉球大学 放射線科 宮良 哲博
- 26 [クイズ症例4] びまん性粒状影の一例  
滋賀医科大学 放射線科 佐藤 滋高

要望演題：感染症 (14:15~14:55)

---

座長：芦澤 和人(長崎大学病院がん診療センター)  
病理コメンテーター：林 徳真吉(長崎大学病院病理部)  
臨床コメンテーター：掛屋 弘(長崎大学病院呼吸器内科)

- 27 拡張型心筋症で発症しニューモシスチス肺炎と移行した HIV 感染症の一例  
聖マリアンナ医科大学 放射線医学講座 松下彰一郎
- 28 急性リンパ性白血病の寛解導入療法中に肺ムーコル感染症を発症し、治療方針に苦慮した1例  
長崎大学病院 放射線科 荻原 幸宏
- 29 抗 IFN- $\gamma$ 抗体血症に伴う播種性非結核性抗酸菌症の1例  
天理よろづ相談所病院 放射線部 片山 直人
- 30 マルネッフェイ型ペニシリウム症の1例  
産業医科大学 放射線科学教室 藤井 正美

## セッション5 (14:55~15:35)

---

座長：藤本 公則(久留米大学医学部医学科放射線医学講座)  
病理コメンテーター：福岡 順也(富山大学病院病理部)

- 31 アミノ酸系除草剤の吸引が原因と考えられた急性肺障害の1例  
東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 佐藤 寛子
- 32 Lung-dominant CTD の概念に合致した間質性肺炎の1例  
久留米大学 放射線科 岩本 良二
- 33 急性の経過をたどった膠原病肺(抗ARS抗体症候群)の1例  
姫路医療センター 放射線科 東野 貴徳
- 34 急性増悪から死への転帰をとった慢性過敏性肺臓炎の一例  
九州大学医学研究院 臨床放射線科 田中 祐子
- 35 石綿肺と臨床診断されていた3症例の画像・病理学的検討  
岡山大学病院 放射線科 加藤 勝也

## 休憩 (15:35~15:45)

---

## セッション6 (15:45~16:40)

---

座長：村山 貞之(琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学講座)  
病理コメンテーター：林 徳真吉(長崎大学病院病理部)

- 36 石灰化を伴う多発肺多形腺腫の1例  
大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 佐藤 行永
- 37 若年性肺炎症性偽腫瘍の一例  
弘前大学医学部 放射線科学講座 対馬 史泰
- 38 術待機中に空洞形成を伴った非定型的肺カルチノイドの一例  
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野 山崎 晴菜
- 39 同時多発肺カルチノイドの一例  
大分県立病院 放射線科 小野 麻美
- 40 著明なFDG高集積を示したoncocytic carcinoidの1例  
四国がんセンター 放射線診断科 田邊 裕貴
- 41 [クイズ症例5] 肺多発嚢胞性病変の一例  
国立病院機構 大牟田病院 放射線科 熊副 洋幸

## セッション7 (16:40～17:25)

---

座長：岡田 文人(大分大学医学部附属病院放射線科)  
病理コメンテーター：福岡 順也(富山大学病院病理部)

- 42 生涯にわたって画像的な観察をし得た肺胞微石症  
聖路加国際病院 放射線科 谷尾 宜子
- 43 胸部 CT が診断の糸口となった新生児発症 Niemann-Pick 病の1例  
奈良県立医科大学 放射線科 高濱 潤子
- 44 結節性硬化症に見られた reversed halo sign  
順天堂大学 放射線医学講座 鈴木 一廣
- 45 上皮内腺癌との鑑別が困難だった Multifocal micronodular pneumocyte hyperplasia (MMPH) の1例  
旭川医科大学 放射線科 高田 陽子
- 46 [クイズ症例6] 乳房温存術後全乳房接線照射中に出現した胸部異常影の一例  
国立病院機構大阪医療センター 放射線診断科 小北真悠子

## 閉会の挨拶 (17:25～17:30)

---

代表幹事 酒井 文和(埼玉医科大学国際医療センター画像診断科)

# 抄 録

# 第18回中国四国胸部画像カンファレンス (胸部放射線研究会中国四国支部)

日 時：平成23年11月12日(土)

場 所：岡山市奉還町1-7-7  
オルガ地下1F

当 番 顧 問：島根大学医学部放射線医学講座 北 垣 一  
当 番 世 話 人：島根大学医学部附属病院放射線科 中 村 恩  
事 務 局：香川県立保健医療大学看護学科 佐 藤 功

## プログラム

病理コメンテーター：島根大学医学部附属病院病理部 原田 祐治  
座 長：鳥取大学医学部放射線医学講座 金崎 佳子

### 出題者

### 解答者

- |   |  |                |
|---|--|----------------|
| 1 | 岡山大学 尾形 毅<br>肺、胸膜に病変を認めた結核腫の1例                     | 高知赤十字病院 中谷貴美子  |
| 2 | 広島大学 寺田 大晃<br>経過中に自然退縮を認めた浸潤を伴う縦隔大細胞型 B 細胞型リンパ腫の1例 | 愛媛県立中央病院 松田 卓也 |
| 3 | 川崎医科大学 東 浩樹<br>Klippel-Trenanay 症候群に肺化膿症を合併したの1例   | 山口大学 田中 伸幸     |

### 《 休 憩 》

病理コメンテーター：島根大学医学部附属病院病理部 原田 祐治  
座 長：島根大学医学部附属病院放射線科 中 村 恩

- |   |   |            |
|---|---|------------|
| 4 | 高知大学 濱田 典彦<br>若年発症の片側性結核性胸膜炎の1例                                       | 島根大学 丸山 光也 |
| 5 | 山口大学 小野 建<br>両肺に多発結節および多発嚢を伴う multicentric Castleman disease と考えられた1例 | 徳島大学 大友 真姫 |
| 6 | 香川大学 伊藤 千里<br>若年女性に発症した網谷病の1例   | 鳥取大学 塚本 和充 |

## Journal of Thoracic Imaging への掲載について

Journal of Thoracic Imaging (JTI) は、Society of Thoracic Society (STR), Japanese Society of Thoracic Radiology (JSTR), Korean Society of Thoracic Radiology (KSTR) の Official Journal で、Impact factor 1.207 (2010) の雑誌です。

2002年のRSNAにおいて開催された編集会議において、日本の胸部放射線研究会事務局と雑誌編集事務局の間で、以下の点が合意されました。

日本の胸部放射線研究会によって査読され採用が決定された3つの英文の Case report を JTI の review を省略して Journal of Thoracic Imaging にまとめて掲載する。

### 今後の予定

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 本年 9月28日 | 胸部放射線研究会                      |
| 12月      | 世話人の推薦による JTI 候補演題の決定、論文執筆の依頼 |
| 来年 3月    | 論文締め切り                        |
| 4月       | 査読                            |
| 5月       | 改訂および再投稿                      |
| 6月       | JTI に3論文送付                    |

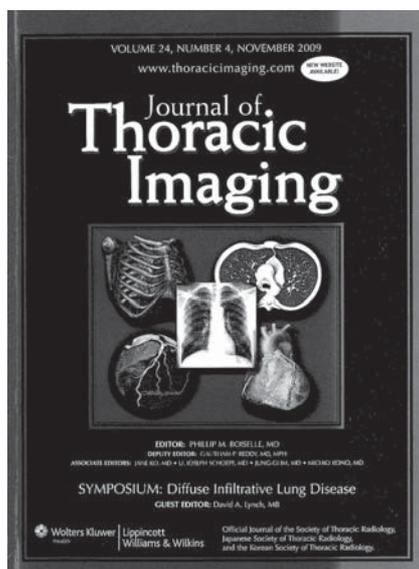
JTI 日本事務局：滋賀医科大学放射線医学講座

高橋 雅士

〒520-2192 滋賀県瀬田月輪町

TEL：077-548-2288 FAX：077-544-0986

E-mail：masashi@belle.shiga-med.ac.jp



## NPO 法人について

事務局では胸部放射線研究会が独自の財政基盤を持ちながら、学術集会ばかりでなく、種々の活動を推進していくために、NPO 法人を2003年11月に設立しました。胸部放射線医学に興味をもち発展を願う人なら誰でも参加できる組織で、法人格を得て種々の活動を積極的に進めていこうとするものです。

名 称：特定非営利活動法人（NPO 法人） 日本胸部放射線医学研究機構  
Japan Thoracic Radiology Group (JTRG)

事 業：・胸部放射線医学領域における学術振興のための研究会開催の支援  
・胸部放射線医学領域における多施設共同臨床研究の支援  
・胸部放射線医学領域における民間機関との共同研究の支援  
・胸部放射線医学領域における国際協力活動あるいは共同研究の支援  
・医療従事者ならびに社会一般に対する胸部放射線診療の広報活動

正会員（個人）：年会費 1万円

準会員（企業）：入会金 2万円 年会費 2万円

このNPO 法人に興味をもたれ、資料や入会申込書等を必要とされる方は、E-mailにて胸部放射線研究会事務局まで氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号をお知らせください。資料を送らせていただきます。

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
滋賀医科大学放射線医学教室内  
特定非営利活動法人日本胸部放射線医学研究機構  
TEL：077-548-2288  
FAX：077-544-0986  
E-mail：hqradio@belle.shiga-med.ac.jp

## 胸部放射線研究会の記録

胸部放射線研究会	当番世話人 (所属)	日本医学放射線 学会秋季臨床大会	大会長 (所属)	日時	会場
第1回		第23回	青野 要 (岡山大学)	1987/10/24	岡山
第2回		第24回	大竹 久 (久留米大学)	1988/10/15	久留米
第3回		第25回	木戸 長一郎 (愛知がんセンター)	1989/9/29	愛知
第4回		第26回	加藤 敏郎 (秋田大学)	1990/10/3	秋田
第5回		第27回	三浦 貴士 (兵庫医科大学)	1991/11/13	神戸
第6回		第28回	望月 幸夫 (東京慈恵会医科大学)	1992/11/6	東京
第7回		第29回	中西 敬 (山口大学)	1993/11/15	山口
第8回		第30回	渡邊 克司 (宮崎大学)	1994/11/9~11	宮崎
第9回		第31回	石井 靖 (福井医科大学)	1995/10/23	福井
第10回		第32回	森田 和夫 (札幌医科大学)	1996/10/9	札幌
第11回		第33回	打田 日出夫 (奈良県立医科大学)	1997/10/9	奈良
第12回		第34回	石川 徹 (聖マリアンナ医科大学)	1998/10/7	東京
第13回		第35回	平木 祥夫 (岡山大学)	1999/10/8	岡山
第14回		第36回	林 邦昭 (長崎大学)	2000/9/27	長崎
第15回		第37回	竹田 寛 (三重大学)	2001/11/8	名古屋
第16回		第38回	渡会 二郎 (秋田大学)	2002/10/24	秋田
第17回		第39回	中尾 宣夫 (兵庫医科大学)	2003/10/10	神戸
第18回		第40回	宗近 宏次 (昭和大学)	2004/10/29	東京
第19回	佐藤 功 (香川大学)	第41回	伊藤 勝陽 (広島大学)	2005/10/7	広島
第20回	村山 貞之 (琉球大学)	第42回	早瀬 尚史 (久留米大学)	2006/10/27	福岡
第21回	原 眞咲 (名古屋市立大学)	第43回	片田 和廣 (藤田保健衛生大学)	2007/10/26	名古屋
第22回	森谷 浩史 (財団法人大原総合病院)	第44回	宍戸 文男 (福島県立医科大学)	2008/10/23	福島
第23回	高橋 雅士 (滋賀医科大学)	第45回	佐藤 守男 (和歌山県立医科大学)	2009/10/30	和歌山
第24回	栗原 泰之 (聖マリアンナ医科大学)	第46回	福田 国彦 (東京慈恵会医科大学)	2010/9/18	横浜
第25回	松本 常男 (国立病院機構 山口宇部医療センター)	第47回	松永 尚文 (山口大学)	2011/10/21	下関
第26回	芦澤 和人 (長崎大学)	第48回	上谷 雅孝 (長崎大学)	2012/9/28	長崎

## 協賛・広告掲載会社一覧

---

石黒メディカルシステム株式会社

イーザイ 株式会社

株式会社エルクコーポレーション

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

財団法人 近畿健康管理センター

コニカミノルタヘルスケア株式会社

コヴィディエンジャパン株式会社

第一三共株式会社

大日本住友製薬株式会社

株式会社 たけびし

株式会社ダテ・メディカルサービス

田辺三菱製薬株式会社

中外製薬株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

日本イーライリリー株式会社

日本メジフィジックス株式会社

ノバルティスファーマ株式会社

バイエル薬品株式会社

富士フイルム RI ファーマ株式会社

株式会社 増田医科器械